

そらのひみつ

町田市立忠生第三小学校 一年 こばやし かほ

これは、ぼくがじっさいにたいけんしたはなし。

ぼくは、そらを見ておもった。なぜそらは、あるんだろう？ なぜそらは、くらくなったりあかるくなったりするんだろうか？

そしてぼくはおもった。

そうだ！ そらは、いきてるんだ。

あさは、おきてるんだ。そしてくらいひは、ねむっているんだ。

そして、またそらを見あげてみると、そらがよごれているのにきづいた。

「おーい！！ そらさん、よごれているよー。」

とはなしかけた。

すると、

「ほんとうだ。さつきえんとつのうえにいたからだ。」

とそらがこたえた。

ぼくは、みんなをよんだ。

そして、しゃぼんだまをそらへたくさんみんなだとばした。

しゃぼんだまですらをおせんたくした。

あわあわあわあわ

ぶくぶくぶくぶく

しゃぼんだまのあわでそらがきれいになった。

そらが

「ありがとう」といった。

ぼくたちは、てをふって

「よかったね」といった。

審査員賞  
こばやしかほ「そらのひみつ」

審査員講評

\*\*\*\*\*

リズム感が抜群で、音読したくなる作品です。自分のテンポを持っていて方なのだと思います。空をモチーフにした作品は多いですが、煙突の上にならから汚れたというのと、しゃぼんだまで空をお洗濯というアイデアが、シンプルなのに新鮮でハッとしました。

—— 藤岡 みなみ